

明治大学体同連テコンドー部 前期行動報告書

2006年9月30日

明治大学テコンドー部の上半期（2006年4月1日から2006年9月30日）の
諸活動・行動について報告いたします。

項

1. 練習体制についての報告
2. 平成18年度前期の主要行事等の報告
3. 大会報告
4. 新歓活動・新歓合宿
5. 四大会（創立記念PARTY・前期納会）
6. 昇級審査
7. 遊び合宿
8. 大東文化大学合同練習
9. 夏季強化合宿

1. 練習体制についての報告

A) 練習日及び時間

	月曜日	火曜日	木曜日	土曜日
主旨	通常練習	通常練習	強化練習	通常練習
時間	18:00 ～ 21:00	18:00 ～ 21:00	18:00 ～ 21:00	14:00～17:00
場所	道場	道場	道場	体育館

B) 練習の変更等

2006年4月の新入生入部に際して、部員数増加のため練習日程として月曜日を追加し、週4日練習体制としました。なお、4月に関しては月曜日を1年生の練習日として、1年生のための練習を行いました。

また、4月初旬に体育館を使用している部活動との話し合いを行い、毎週土曜日14時から16時の体育館を確保し、土曜日は事前に道場で各自アップから体育館練習、その後道場で筋トレ・自主練という練習体制に決定しました。

C) 夏季休業中の練習

夏季休業中は通常の時間と若干異なった下記時間帯で練習を行いました。

	月曜日	火曜日	木曜日	土曜日
主旨	通常練習	通常練習	強化練習	通常練習
時間	17:00 ～ 20:00	17:00 ～ 20:00	17:00 ～ 20:00	14:00～17:00
場所	道場	道場	道場	体育館

D) 練習中止日

下記特定の日程は諸事情により練習を中止しました。

- 2 新歓期間中の道場の使用不可のため
- 3 新歓合宿開催のため
- 4 8月10日から16日の期間学校施設休業のため
- 5 9月16日東日本オープン大会移動のため

上記以外にも行事等による時間の若干の変更がありました。

2. 平成18年度前期の主要行事等の報告

月	行事等行動内容
4月	新歓活動・新歓演武
5月	新歓合宿
6月	創立記念パーティー 他大学交流試合 大東オープン
7月	昇級審査 全日本新人選手権大会
8月	前期納会 夏季遊び合宿 大東大学合同練習 夏季強化合宿
9月	強化指定選手選考会 東日本オープン

3. 大会報告

E) 大学交流試合

6月11日、明治大学体育館において明治大学主催による「第2回大学交流親善試合」を行いました。参加校は、神田外語大学・関東学院大学・東海大学・明治大学で男子3階級・女子は合同級のひと階級に分かれて試合をしました。二年生が出場し、それぞれが今後の課題・目標を定めていました。今大会も明治大学が運営ということで、事前に集合し主将を中心に部員全員で会場設営・進行確認が行われました。また、試合場は一つであったので、各学校代表者が交代で主審・副審を行いました。

『大会結果』

階級	結果
男子 軽量級	優勝： 間々田 卓也
男子 中量級	優勝： 荻原 甚
女子 合同級	優勝： 下中 香代子

F) 大東オープン

6月18日大東文化大学板橋校舎において大東オープン大会が行われ、明治大学から7人が出場しました。今大会は大東文化大学さんから明治大学テコンドー部として初の招待を受け、上級・初級とも多くの部員が入賞しました。今大会は来年以降も明大が出場し、入賞を果たすためにも新たな目標を作るよい機会となりました。

『大会結果』

階級	結果
男子-58kg上級	第三位： 岩本 聖
男子フェザー初級	優勝： 太田 洋一
男子フライ初級	優勝： 野口 浩気
女子バンタム・フェザー初級	準優勝： 保谷 美恵
女子フライ初級	準優勝： 三宅 真央
女子フライ初級	第三位： 藤本 佳那

G) 全日本新人選手権大会

7月29日福岡のアクションにて全日本新人テコンドー選手権大会が行われ、明治大学からは岩本聖が出場し、セコンド・応援に斉藤コーチ・主将・マネージャーが同行しました。本大会は全日本大会の予選の性質もあり、全国から選手が集まり全日本の切符をかけ試合を行いました。結果、岩本聖が男子フライ級で三位入賞となり全日本大会出場権を獲得しました。

『大会結果』

男子フライ級 岩本 聖 第三位・全日本選手権大会出場権獲得

H) 強化指定選手選考会

9月10日浅草リバーサイドで強化指定選手選考会が行われ、明治大学から岩本聖が出場しました。本選考会ではオリンピック出場へ繋がる、日本代表を選考するもので、明治大学として初出場を果たし、全日本大会に匹敵する大会として大変価値のあるものとなりました。今後、後輩が本選考会に続けるよう、またテコンドー部が明治大学を代表する部になるための貴重な出場となりました。

『大会結果』

男子フライ級 岩本 聖 出場

J) 東日本オープンテコンドー選手権大会

2006年9月19日(日)福島にて東日本オープンテコンドー選手権大会が行われ、明治大学からは選手が18人、その他応援に多くの部員が参加しました。今大会は早くから告知がされていたので、合宿前・合宿・合宿後と多くの練習時間が確保できました。さらに今大会では一年生が初めての試合ということになり、通常練習も含め強化練習・合宿と出場する一年生を中心に試合のための練習が行われました。

『大会結果』

階級	結果
男子バンタム級	準優勝： 荻原 甚
男子フェザー級	第三位： 太田 洋一
男子ウェルター級	優勝： 伊庭 和宏
女子フライ級	優勝： 涌沢 ゆりか
女子バンタム級	第三位： 下中 香代子

4、新歓活動・新歓合宿・体同連新歓

2006年度も新入生部員獲得のため新歓活動を行いました。この新歓活動に先立ち、全体をまとめて新歓の会計を行う三年生の幹事・新歓総幹事、勧誘活動に使うピラ・ポスターなどを作製する宣伝幹事、新歓演武の企画や指揮をとる演武幹事、二回行われる新歓コンパの企画・運営を行う第一回コンパ幹事・第二回コンパ幹事、新歓合宿を企画・運営する新歓合宿幹事などの諸幹事を前年度二月中に決定し、春休み中に細かく話し合いを設け、事前の準備を行ってきました。今年度の新歓活動は部員人数も増え、より多くの新入生に声をかけることができ、全体を通して幹事を中心にスムーズな活動が行えました。また、今年も和泉校舎で歩き回りを中心とした勧誘・演武を行い、特に演武では応援団の前に行うことができ、多くの観客に最高の演武を見せることができました。一部、生田での演武が雨天によって若干の時間のずれが生じたため、生田校舎では観客は少なめでしたが、演武メンバー全員が練習どおりに実演し観客からも歓声があがっていました。

また、2006年5月3日から4日まで1泊2日で尾瀬にて新歓合宿を行いました。今回の新歓合宿は幹事が春休み中に計画をたて、温泉・散策・バーベキュー・イチゴ狩りなど、多くの企画を準備しました。当日は一年生が数多く参加し、自己紹介や一年生対象に各幹部から入部に際する説明も行われ、今合宿を区切りとして新歓期間が終了しました。2006年度は入退部もありましたが9月31日現在23人の一年生部員が在籍し、昨年度に引き続き多くの部員を獲得しました。

2006年6月17日にはテコンドー部が所属する体育同好会連合会生田支部の新歓コンパが行われ、テコンドー部として初参加しました。会の中では来賓の方や役員の方からの挨拶の後、自己紹介などが行われましたが、新入生同士、他の部活間での交流ができ、明治大学内での相互関係も深まるものとなりました。

5、四大会（創立記念PARTY・前期納会）

6月2日のテコンドー部創立記念日に新宿のJESPAH新宿店を貸切ったの創立記念パーティーが行われ、スーツなどのフォーマルな服装で集まり、19:30から22:00まで2時間半行われました。今回で創部四年目に突入し、初の四学年体制になるという一つの区切りでもある創立記念日でした。会の中では山下師範・斉藤コーチ・岩本初代主将・古舘第二代主将・渡邊マネージャー・四年生の創部メンバーからそれぞれ挨拶があり、テコンドー部の記念すべき日として部員みなが気持ちを共有していました。

また、8月1日に新宿のefという店を貸しきって前期納会が行われました。フォーマルな服装で行われましたが、17:00という早い時間から始まり、20:00に終わった後はそれぞれの学年にわかれ学年会を行いました。一次会では創立記念PARTY以後、部員が一同に介する飲み会となり、みな前期の活動納めをしていました。会の中では誕生日会や岩本初代主将の挨拶などがあり、みな盛り上がっていました。二次会では普段はあまり機会がなく集まらない学年同士が集まり、各学年の交流と結束が深まりよい会となりました。

6、昇級審査

7月23日(日)浅草道場で行われた昇級審査に明治大学も一年生から四年生まで多くの部員が受験しました。今回の審査は一年生の入部もあり、比較的多い人数の受験となりました。日程的には前期試験の前日でありましたが、今回の審査では、一年生は初めての審査ということで、通常の練習時に斉藤コーチや先輩にプムセなどを聞き、自主的に練習していました。また、上級生もいっそう難易度が上がり難しくなりましたが、一年生の手本となるように、斉藤コーチに指導していただき自らのプムセ課題に取り組んでいました。当日部員みなが練習どおりに声・技を出すことに集中し、審査の結果、一年生は黄色帯をいただき、今後の練習から始まるキョルギへと次の目標を定めていました。

7、夏季遊び合宿

2006年8月3日から4日の1泊2日、山梨にて夏季遊び合宿を行いました。遊び合宿ではテコンドーの練習はしないものの、1年生から4年生までの部員の交流の機会として企画されました。今回も幹事が中心となり、部員へのアンケート・旅行会社との話し合い・しおり作成・当日の指揮など行いました。内容としては花火や温泉・そばうちなど充実した内容で、部の交流行事としてはよいものとなりました。今回の若干参加人数が少なかったという反省を踏まえ、来年以降も固定化した行事として、また部員相互の交流行事として重点を置く行事として、確立するよう努めたいと思います。

8、大東文化大学合同練習

2006年8月19日(土)大東文化大学板橋校舎にて、大東文化大学体育会テコンドー部との合同練習を行いました。大東文化大は大東オープンなどでもお世話になり、多くの全国レベルの選手が所属していることから、今回の合同練習は非常に価値のあるものになりました。練習は体育館で行われ、メニューは大東文化大の金井監督の指揮の下行われ、準備体操後、ライン練習が行われました。ライン練習では通常の明大のメニューに加え、脚を上げる練習や、連続技やステップを入れながらの蹴りなど、試合前であったので実践的な練習でした。その後、ミットを使い各自が指示された蹴りと自由な蹴りを練習し、一年生と上級生に別れステップキョルギを行いました。ステップキョルギの後に、防具を着用した連続技などラインで行い、防具着用のキョルギ、試合形式のキョルギとなり、練習が終了しました。合同練習で慣れないメニューやお盆休み明けの練習のためか何名か体調を崩した者もいましたが、一年生も上級生も始めて体験するメニューや選手に少しでも吸収しようと、集中して取り組んでいました。練習後は居酒屋にて交流会を兼ねた飲み会が開かれ、大東文化大の部員たちと交流し、明大テコンドー部の輪がまた一つ広がりました。

9、夏季強化合宿

今年は千葉の九十九里浜で8月31日から9月5日までの5泊6日で行われました。出発は生田の明治大学に集合し、そこからバスを貸しきって宿舎まで行きました。まず、初日の練習は3時間の午後練習から行われました。30分間ランニングなど持久力面中心のメニューでしたがストレッチなどは十分行ったにもかかわらず久しぶりに練習に出てきた人など中には足をつる人が数人出てしまいました。夜は筋トレを行い、初日の練習は終了しました。2日目は朝練として海岸ランニングなどを行い、午前練習、午後練習は三時間ずつの練習でステップやミットなど基礎的なことを特に重点的に行いました。3日目も午前中までは2日目と同じような練習内容でしたが、午後はフリータイムでビーチフラッグとスイカ割りが行われました。ビーチフラッグは4チームに分かれて15走者まで男女交互に行い、旗の代わりに点数の書かれたボールを4人で奪い合うことで獲得したポイントを競うというものでした。また、これにはバツゲームがあり一番点数の少なかったチームはゴーヤ青汁に納豆を混ぜたものを飲むものでかなり盛り上がりしました。4日目は午前、午後と試合を意識した練習を行い、ミットや防具蹴り、コンビネーション、ステップキョルギなどが主なメニューで午後には防具をつけたキョルギも行われました。5日目はキョルギ大会を試合形式で軽量級、中量級、重量級とわかれトーナメント形式で行いました。夜には飲み会を行い、花火や一発芸などで盛り上がりしました。6日目は午前中に普段通りのメニューをし、午後には宿舎を出発し生田で解散しました。また今回の合宿では書籍発表をというものを夜や昼の空いている時間に行いました。これは明治の図書館に頼んで入れてもらったテコンドーについて役立つ本を担当者が内容をまとめ紹介するというもので、ストレッチの仕方や筋トレの仕方、食事・減量に関してなどいろいろなものがありました。この合宿で部員たちの心技体の成長が目に見えて表れ、そういった意味で価値のある合宿となりました。